

# 令和5年度事業報告

## I. 概 要

令和5年度におきましても、少子・高齢・人口減少が進む我が国において、門真市シルバー人材センターは地域社会を支える担い手の主役であるという思いで事業の推進に努めて参りました。

今後ますます期待されているシルバー人材センター事業ですが、事務事業のDX化を中心に業務の効率化を推進するとともに就業・契約内容の大幅な見直しを実施するなど、積極的な活動を展開して参りました。

このような中、会員数につきましては、センターホームページのリニューアルや入会説明会を市内各所で開催するなど入会手続きの簡素化を進めて参りましたが、目標を大きく下回り1,561人という衝撃的な結果となりました。入会者については一定確保されたものの退会者の増加によるものであり、今後退会抑制につながる新たな対応策を模索していく必要があると考えます。

一方、事業実績については、労働力不足に起因する派遣事業の伸びはあったものの、門真市からの大型受注の終了の影響もあり請負事業は大変厳しい一年となりました。

結果として令和5年度の当センターの事業実績は、請負事業は約8%下落したものの、派遣事業については昨年度を約5%上回る過去最高の事業実績となりました。

そのような状況から、第二次中長期計画マスタープランに掲げた事業目標実現に向けて新たに総務省の受託事業であるデジタル活用支援推進事業「かんたんスマホ教室」の開催や松生町にオープンした大型ショッピングモールでの就業開拓を進め、次の十年への足掛かりとなる事業活動を模索して参りました。

その他、創意工夫事業や第二層生活支援コーディネーター業務においては、高年齢者の活躍できる場や地域社会への貢献事業として拡大することが出来ました。

また、介護予防福祉作業所「ハッピーエール」につきましては、当初開設時における目標との大幅な乖離が生じたこと並びに不採算事業となっていたため閉所としました。

広報活動では、イベント等の魅せる広報で「大阪マラソン」のボランティア活動や「ふるさと門真まつり」には盛大に参画し、また恒例の弁天池公園で開催する春の「スプリングカーニバル」秋の「ふれ愛感謝祭」では、門真市制施行60周年記念に応じた花文字のマリーゴールドの苗の配布や大阪万博については「万博現れる」をテーマにマスコットキャラクター「ミyakミyak」を迎えて大勢の皆様にご来場いただき盛大に開催しました。

また、安全適正就業対策の一環として、事故0を目指す安全啓発標語を公募し、定時総会で披露する等の周知に努めました。

センター事業の要となる事務所の新築に向けて、建設委員会を立ち上げ、計画の具体案の策定を目指しました。

なお、本年度の活動の詳細を、以下の通り報告いたします。

## 〔1〕事業活動の状況

### 【会員数を増やす】

入会説明会・研修会を数か所に分けて実施し、加えて女性専用入会説明会を設定し月 2～3 回開催することで新入会員の獲得に努めました。しかしながら、定年延長及び社会的な労働力の不足、広報かどまへの掲載回数が例年より少なかったこと等が影響し、新入会員数が伸びなやみました。

また、取り組みやすい公園・史跡・市営団地周辺・グリーンベルト等の清掃等未就業会員への対策を継続して実施し、今年度これらの仕事に延 655 名の方が就業され、退会の抑制に努めました。

以上の結果として、新入会員数は前年度との比較で 26 名減少し 190 名となり、退会会員数は前年度との比較で 80 名増加し 265 名となりました。

### 【就業機会を拡大する】

請負事業については、統一地方選挙関連業務及び『放課後児童クラブ他校通会』委託業務の受注及び既存契約企業への PR やアフターケアなどを実施したものの、門真市からの大型の受託事業（リサイクルプラザ場内選別等処理業務）が終了したことや適正就業の推進に伴う請負から派遣への契約形態の変更などにより、前年度比 91.85%の契約金額実績となりました。

派遣業務については、コロナの影響により学校関係の求人が縮小したものの、民間企業への積極的営業及び大型ショッピングモールの開業による受注増により、前年度比 104.77%の契約金額実績となりました。

会員の活躍の場創出の創意工夫事業については、訪問介護事業、第 2 層生活支援コーディネーター業務、福祉有償運送事業や喫茶事業等の独自事業を展開しました。

また、今年度の新規事業として、積極的に参加・活動の出来る会員が集まって『楽農園倶楽部』を結成し『楽農園事業』がスタートしました。

### 【『魅せる広報活動』を進める】

元気なシルバー会員の PR として「魅せる広報活動」を展開しました。

門真市立弁天池公園にて、4 月 29 日には『弁天池公園スプリングカーニバル』を開催し 3,900 名の方に、11 月 23 日には『弁天池公園ふれあい感謝祭』を開催し 3,432 名の方に、それぞれご来場いただきました。また、出張便利やデーの実施、御堂古川橋住宅自治会夏まつり、速見ふれあい祭り、古川橋ラブリーフェスタ、上野口小イベントなどのイベント

に協力し、地域のコミュニティとの交流を図りつつシルバー事業を PR しました。

『旧門真市立北小学校跡地 未来づくりワークショップ』に会員・職員が参加し、5月28日に開催された『キタショウフェスティバル』にて地域で活躍する団体としてシルバー事業を PR しました。

8月5日には『第5回ふるさと門真まつり』が市制60周年記念事業として開催され、副実行委員長を含む実行委員3名が参画し、シルバー事業浸透のため祭りの開催に協力しました。

また、シルバーLINEアカウントを稼働させ、開催するイベント・ボランティアの募集等の情報を365名の登録者の方々へ配信しました。並行して、Facebook、Instagram、X(旧Twitter)でも情報を発信しました。9月30日には関西テレビ放送の人気バラエティー番組『ウラマヨ!』に『門真市ゾンビ人材センター』の制作秘話について放送され、12月11日にはNHKラジオがレンコン収穫の取材に来られました。

## 【安全・適正就業を推進する】

令和5年度定時総会にて、自転車ヘルメットコンテストの実施及び門真警察署による道交法改正に関する講義を行い自転車ヘルメットの着用を推進しました。同時に令和5年度安全標語を選定し、事務局通信及び事務所入口に掲示することで安全意識向上を図りました。

職種別適正就業特別研修会を19回実施し909名の方が出席され、具体的な事故・トラブル事例の紹介など、安全・適正就業を推進しました。門真警察より警察官の方も各会場に頻繁にお越しいただき、自転車ヘルメット着用義務化や交通ルールなどの講話を行なって頂きました。

マンション清掃・屋外作業を中心に安全就業パトロールを29回実施し、会員の安全意識の向上及び手順書の確認・充実を図りました。

健康向上活動については、昨年度まで実施していた『健康生活アンケート』に代わるものとして、ダイヤ高齢社会研究財団より『シルバー人材センター会員等の介護予防効果に関する研究調査事業』を継続し、また、適正就業特別研修会に認知症サポート講習を付帯させることでリーダーに必要な健康に関する知識付与・認知症に対する意識の向上を図りました。また、大阪府シルバー人材センター事業協会の産業医の推奨するフレイル・ロコモティブシンドローム・サルコペニアを予防するためのロコチェックやフレイル進行予防トレーニングを周知・啓発しました。

## 【公益社団法人として統治・管理を強化する】

理事会を5回開催し、審議案件30件、報告案件27件を提案し可決承認されました。

令和5年5月8日に令和4年度監査を、また、令和5年11月16日に令和5年度中間監査を、それぞれ実施し監事より法令に違反する事案のないことや各諸帳票の確認がなされました。

令和5年6月10日に令和5年度定時総会をルミエールホール大ホールにて開催し、会員1,135名（内、議決権行使書により賛否の議決を行使するもの801名）が議決権を行使され、議案6件が可決承認されました。

各専門部会を定期的に開催し、安全適正部会では適正就業特別研修会における認知症サポート講習による健康意識向上活動に取り組みました。また、就業開拓部会では『楽農園事業』を始めとする高年齢会員の就業先開拓及び女性会員の就業についての検討を行いました。また、普及啓発部会では各イベントでのPRブースの設置、LINEのお友達登録の活用を進めました。

シルバーアプリ（会員クラウドサービス）を導入し、配分金明細書のweb確認やスマホ会員証など、会員の利便性向上を目的としたDX推進に努めました。また、これに伴うかんとんスマホ講習会を66回開催し、延360名の参加がありました。

10月より始まったインボイス制度への対応として、取引先に対し適格請求書番号発行事業者としての周知を図ると共に、今年度の請負業務委託契約の事務費比率を12%としました。また、研修会及び事務局通信等にて、会員の皆さんへの説明を実施しました。

令和5年度定時総会にて会員の皆様へ建設計画の概略案を説明すると共に、次年度の新事務所建設に向け事務所建設委員会にて具体案の策定に努めました。

[2] 数値目標に対する実績

① 正会員数

	令和5年度 (目標)	令和5年度 (実績)	令和4年度 (実績)
正会員数(人)	1,700	1,561	1,636
【内】新入会者	220	190	216

② 契約件数

	令和5年度 (目標)	令和5年度 (実績)	令和4年度 (実績)
受託事業(件)	5,000	2,472	5,049
派遣事業(件)	350	323	318

③ 契約金額

	令和5年度 (目標)	令和5年度 (実績)	令和4年度 (実績)
受託事業(千円)	380,000	339,351	369,467
派遣事業(千円)	340,000	316,012	301,632

④ 就業率

	令和5年度 (目標)	令和5年度 (実績)	令和4年度 (実績)
就業率(%)	92	92.2	92.5

⑤ 就業実人員

	令和5年度 (目標)	令和5年度 (実績)	令和4年度 (実績)
受託事業(人)	1,300	1,028	1,224
派遣事業(人)	520	459	446

⑥ 就業延人員

	令和5年度 (目標)	令和5年度 (実績)	令和4年度 (実績)
受託事業(人)	114,000	103,931	106,340
派遣事業(人)	62,000	59,408	57,848

### 〔3〕 事業実施内容

#### 【1】 会員数を増やす

##### (1) 入会促進

###### 1、入会説明会の開催

- ・入会説明会をセンター会議室、高齢者ふれあいセンター、市民プラザの3か所で実施し年間21回開催しました。また、これとは別に女性専用入会説明会を老人福祉センターにて年間4回開催しました。
- ・WEB入会の体制を準備しました。

(四半期ごとの入会説明会参加目標)

(単位：人)

参加者数	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和5年度 目標	83	71	67	69	290
令和5年度 実績	67	35	71	63	236

###### 2、新入会員研修会の実施

- ・入会説明会に参加され入会を希望された方に対し、当センターの組織・運営・規約を伝えるための研修会を毎月2~3回(年25回)開催しました。
- ・入会手続きを改革し、センターの一員として多くの方が手続き後すぐに活躍のできる体制を構築しました。
- ・大阪府シルバー人材センター協議会の就業体験事業に協力し新入会員の獲得と事業のPRに努めました。

(四半期ごとの参加者目標)

(単位：人)

参加会員数(人)	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和5年度 目標	65	39	60	56	220
令和5年度 実績	48	34	51	52	185

###### 3、多種多様な年齢層へのアプローチ

- ・市役所ロビー等の公共施設や企業訪問を通じPR活動を図りました。
- ・女性活躍推進委員会によるイベントを女性専用入会説明会にて行ない、女性への入会促進を図りました。
- ・体験就業会や技能講習会などを開催し入会促進に努めました。
- ・ホームページや機関紙等で多様な就業の内容を公開し、情報公開に努めました。
- ・イベント、ボランティア活動を通じ市民への事業のPR活動を図りました。
- ・市内各地で入会アプローチを行ない、新たな入会の機会を増やしました。

## (2) 魅力的なセンターづくり

### 1、仲間づくり

- ・公認同好会など会員同士の絆を高められる仲間づくりを推奨しました。
- ・イベントボランティア登録制度を導入し、会員同士の交流を深めました。

### 2、IT・web の活用

- ・配分金明細書 web 発行、就業会員募集情報やイベント情報の LINE 提供等により、会員及び関係者の利便性を向上しました。また、スマートフォン教室を開催し、会員のデジタル活用を推進しました。
- ・アプリの開発や、ホームページの活用を進め会員サービスの向上、事業をより効果的にPRする方法を探りました。また、センター事業への貢献度（ボランティアやイベントボランティア参加者等）に対し、ポイントを付与出来る機能を検討しました。

### 3、満足度調査

- ・請負就業中の現場・会員に対し個別ミーティングを行い、就業会員の満足度向上及び退会抑制を図りました。

## 【2】就業機会を拡大する

豊かな能力・技術・経験のある方、ホワイトカラー層、80歳以上の方、ハンディキャップをお持ちの方等、会員の様々な経歴・環境・希望に対応し、適材適所で多種多様な仕事を提供しました。

### (1) 生きがい就業の推進

受託事業・労働者派遣事業・創意工夫事業により、適材適所で多種多様な仕事に対応し、生きがい就業を推進しました。

#### 1、受託事業の取組み

- ・地域で役立つ・頼られるシルバー人材センターとして、個人家庭や民間事業者のお困りごとへの対応に強化を図るため利用者アンケートを実施し、調査結果を分析して満足度向上を図り、就業実績の向上を図りました。
- ・内職作業や一斉清掃等、後期高齢者の会員や女性がメインとなる就業の開拓に努めました。
- ・発注者に対する満足度調査を実施し、調査結果や全国の事故事例・先進的取り組みを職種別研修に反映させ、就業の質の向上を図りました。
- ・未就業会員の就業先確保のため、駐車場・公園・施設等、管理部門での一斉清掃・除草等を行いました。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

受託事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	計
令和5年度 目標	93,200	97,600	103,400	85,800	380,000
令和5年度 実績	86,845	83,056	94,300	75,151	339,351

## 2、労働者派遣事業の取組み

- ・営業専門職員による市内事業者及び既存取引先への再アプローチを図り、介護・保育・運転等、人手不足分野を中心とした訪問営業活動に努めました。
- ・適正就業ガイドラインの周知を図り、就業内容を精査し8件の契約を請負から派遣へと切り替えました。
- ・労働基準法を遵守し、有給休暇の付与や労働環境の改善に努めました。
- ・大阪府シルバー人材センター協議会及び府内各センターと連携し、業務拡大（最大週40時間までの就業時間の延長）の実現を目指しました。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

派遣事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	計
令和5年度 目標	85,300	84,800	88,500	81,400	340,000
令和5年度 実績	76,446	76,026	84,420	79,121	316,012

## 3、職業紹介事業の取組み

- ・本年度の有料職業紹介事業の実績はありませんでした。

## 4、創意工夫事業

### ①出張『便利やDay』の開催

出張『便利やDay』を御堂古川橋住宅にて開催しました。主に個人家庭の業務を開拓しました。

### ②福祉作業所事業

高齢等で体が不自由な会員でも就業が出来る場所、福祉作業所『ハッピーエール』は建物賃貸契約の満了に伴い、取引先の拡大が見込めないことから年度末をもって閉所することとしました。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

福祉作業所事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和5年度 目標	650	650	650	650	2,600
令和5年度 実績	299	248	316	224	1,087

### ③喫茶事業

第2層生活支援コーディネーター事業の「通いの場」の一つとして市民に開かれた喫茶店を目指しました。また会員の手作り作品や地域の農作物を販売することが出来る店舗としての活用を促進しました。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

喫茶事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和5年度 目標	1,050	1,050	1,050	1,050	4,200
令和5年度 実績	845	766	840	721	3,172



⑤ 訪問介護事業、総合支援事業

福祉事業の核となる事業とするため、介護初任者研修を終了した人材を広く募集し、同時にサービス提供責任及び担当会員を育成することで、以下の事業実績達成を図りました。また、くすのき広域連合解散に備え、門真市内での総合支援事業強化を図りました。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

訪問介護事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和5年度 目標	4,500	5,700	5,700	5,700	21,600
令和5年度 実績	5,731	5,147	5,274	5,488	21,640

⑥ 第2層生活支援コーディネーター事業

第1層生活支援事業者と連携し、高齢者の介護予防に努めました。地域の高齢者のニーズを汲み取り相談窓口としての地位の確立に努めました。感染症対策を充分講じ地域の「通い場」作りの増設に努めました。

(年度ごとの目標)

(箇所)

年度	令和5年度 (目標)	令和5年度 (実績)
通いの場の数 (箇所)	35	20

⑦ 福祉有償運送事業

要介護・要支援者、障がい者の外出支援の為、福祉有償運送事業を継続実施しました。くすのき広域連合の解散に伴い、門真市に対し福祉有償運送事業を新総合事業の移送サービスとしての認定を目指しました。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

福祉有償事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和5年度 目標	600	600	600	600	2,400
令和5年度 実績	555	501	516	433	2,005

⑧ 楽農園事業

市の協力を基に、現在の柳田町・岸和田の市内2か所のシルバー市民農園事業運営を継続しました。会員が、農業に親しみ触れ合う機会と就業機会の両方を獲得できる市民農園の活用を目指しました。伝統野菜『門真れんこん』の収穫体験、学習体験を通じ市民が郷土を愛する機会を創出すると同時に事業を通じセンターの様々な事業活動を広く市民に周知しました。

また、楽農園委員会を組織し、高齢会員の就業や農園事業への市民参加を促進し、事業の活性化・PRを図りました。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

農業事業収入金額	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和5年度 目標	2,300	50	800	250	3,400
令和5年度 実績	2,220	38	464	239	2,961

#### ⑧指定管理事業

センターの管理施設「弁天池公園」を、市民の交流スペースとし愛される公園として、より市民満足度の高いサービス提供に努めました。

## (2) 質の向上

講習・研修会の充実や満足度調査により就業の質を向上させ、また、会員目線・お客様目線により利便性を向上させることにより、就業機会を拡大しました。

### 1、講習会研修会開催

- ・発注者アンケート結果や事故事例、全国の先進事例を取り入れた職種別研修を既存職域班全てにおいて実施し、当該職種に従事する全会員の方に受講していただくことで、就業の質を高めました。
- ・技能向上のための植木剪定や清掃の講習会を実施し、市民の方々の幅広いニーズに質の高い就業で対応しました。
- ・スマートフォンの利用に関する支援を行なうことで、シルバーアプリを普及させ、デジタル活用に係る機会又は必要な能力における格差を是正し、就業報告等、お客様・就業会員の利便性向上を図りました。
- ・適正就業特別研修会に付帯した接遇研修会を実施し、マナーの向上を図りました。

### 2、利便性向上の取組

- ・発注者様からのお仕事情報のホームページ掲載、ホームページからの仕事依頼の受付の充実を図りました。
- ・お仕事依頼者に対するサービスの概算見積額の日安を表示しました。
- ・会員の交代等による就業内容の変動を防ぐため、個別ミーティングの実施により就業先の資料充実を図り就業の質の均一化に努めました。
- ・契約書同封にてお客様アンケートを実施し、顧客満足度は98%となり目標を達成しました。
- ・配分金明細のWeb閲覧、LINEの活用による業務連絡・情報の共有を図りました。

## 【3】『魅せる広報活動』を進める

センター主催のイベントや各種団体等のイベント参加時に、センターの活動や主旨が広範囲に浸透する工夫を凝らした普及啓発活動に努めました。

## (1) ボランティア活動の推進

- ・協働できる団体や市民と連携を図り、門真市の美化活動に貢献しました。
- ・ボランティア推進委員会を中心に年間のボランティア清掃活動事業の計画を作成し、毎月第1土曜日・第3土曜日を活動日として、組織的に清掃活動を実施しました。
- ・清掃ボランティアの参加者数減少に歯止めをかけるため、事務局通信やSNSを活用し、参加者の増加を募りました。
- ・地域の安全防犯活動として、青色防犯パトロールを市内全域で実施しました。
- ・イベントボランティアについては、イベント実行委員会を中心に、組織的に活動を促進しました。
- ・地域班別ボランティアリーダーの育成を行ない、会員への円滑な情報提供と参加意欲を促進し、参加者数の増加を目指しました。

## (2) イベント活動

### 1、センターが主体となる普及啓発活動

- ・弁天池公園イベント実行委員会を組織し、大阪万博をテーマにしたスプリングカーニバル（4月）、ふれ愛感謝祭（11月）を指定管理施設「門真市弁天池公園」で開催しました。
- ・シルバー便利や Day をセンター事務所等にて月2回開催しました。また各地域にて出張便利や Day として、地域交流サロンや通いの場、元気朝市門真もんと複合的に開催し、事業の普及啓発のみならず地域の絆を深める一助となりました。

### 2、他団体が行う事業に協賛・協働し行う普及啓発活動を実施

- ・ふるさと門真まつりに参画しました。
- ・旧北小学校活用の社会実験としてキタショウカーニバルの開催に協力しました。
- ・「古川橋ラブリーフェスタ・スプリングフェスタ」、「かどま市スポーツ・レクリエーションフェスティバル」等、門真市の活性化を担う活動に参加しました。
- ・センターの魅力を発信するため、大阪マラソン等門真市外で開催するボランティア活動に参加しました。

## (3) 魅せる広報活動

- ・テレビやラジオ、新聞などの情報機関に積極的に働きかけ、センターの活動や魅力について情報発信しました。
- ・市内全戸配布広報紙「門真市シルバー人材だより」を発行し、市広報に折込配布しました。
- ・機関紙「事務局通信」を毎月発行し、全会員に配布しました。
- ・年5回週刊大阪日日新聞に記事広告を掲載し会員の活躍について情報発信しました。
- ・LINE等のSNSを活用し、連絡・情報提供など利便性向上を図りました。
- ・ホームページについては、担当業者の見直しも含めた活用・再構築を図りました。

## 【4】安全・適正就業を推進する

安全就業・適正就業の意識向上を図る研修会を開催しました。また、就業を通じた健康維持を推進し、福利厚生を充実させることで、会員の健康寿命の伸長を図りました。

### (1) 安全就業の推進【事故0のために】

就業手順書の整備・徹底や安全研修会を充実させましたが、傷害事故3件、賠償事故2件、労災事故1件が発生しました。

#### 1、就業の手順書の整備・徹底の取り組み

- ・事故防止安全対策として、安全パトロールを実施し、業務ごとの手順書、安全マニュアル、業務仕様書、研修会資料の周知と徹底を図りました。

#### 2、安全適正部会や安全就業推進委員会による安全研修会（自転車・熱中症対策・天災・感染症対策等）の充実

- ・職域班会員に安全に関する専門的講習を受講させ、事故・トラブルの抑制に努めました。
- ・門真警察署と協力し、適正就業特別研修会に付帯した会員向け自転車講習会を多数開催しました。
- ・あらゆる機会に適正就業ガイドラインの周知徹底に努めました。

### (2) 自己健康管理、健康診断の推進

市民健康診査の受診推奨や健康測定、生きがい就業の介護予防効果に関する共同研究事業の実施、福利厚生の充実等、健康寿命の伸長を図りました。

#### 1、会員健康維持の取り組み

- ・適正就業特別研修会に付帯した認知症サポーター講座の開催によるオレンジリング活動により、軽度認知症の初期対応に努め、適材適所で業務への影響を0に努めました。

#### 2、福利厚生の充実

- ・福利厚生の充実の取り組みとして、第二層生活支援コーディネーター業務における健康教室の実施や同好会活動による健康維持を推進しました。
- ・公認同好会組織と連携し、会員募集の活動をするとともに、活動を支援しました。

## 【5】公益社団法人として統治・管理を強化する

### (1) 公益社団法人の運営

#### 1、コンプライアンスの徹底

- ・法令及び定款、諸規定に従い法人の活動状況を広く周知し事業の充実を図りました。
- ・理事会の決定に従い、迅速かつ的確に業務を遂行しました。
- ・公益社団法人として、会計基準に基づいた適正な会計処理に努めました。
- ・個人情報を守り、情報公開の適切な運用を実施しました。
- ・人権を尊重し、ハラスメント等に対しては迅速、適切に対処しました。
- ・請求書や請求システムの改善により、出納管理業務の合理化を図りました。

#### 2、適正就業の推進

- ・臨時的かつ短期的、又はその他の軽易な業務については、法令で定められた時間内での業務を遂行しました。
- ・「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づいた就業を促進する為、グループのローテーションやワークシェアでの就業を推進しました。

### (2) 法人・組織体制の強化

- ・事務局通信にて呼びかけ、総会出席率（議決権行使率）の向上を図りました。
- ・理事監事候補者選考委員会及び役員立候補制度により広く人材を発掘しました。
- ・理事会、三役部会長会議を中心にした運営体制を強化しました。
- ・会員のセンター事務登用を進め、会員の経歴・スキルを活かし事業運営に貢献しました。
- ・市内で活躍する人材を会員として迎え入れ組織強化を図りました。
- ・専門部会に予算を配分し、活性化を図りました。
- ・令和7年2月の事務所移転に備え、新事務所建設のための資金計画等準備を進めました。

#### 1、地域班

- ・事務局通信等の会員配布をスマートフォンの活用で行うことに変更したため、令和6年度より廃止となり、今後の地域班活動の在り方を検討いたしました。

#### 2、職域班

- ・現在の職域班10班全てで職域班研修で実施し、就業の質を向上させ、事故・トラブルの抑制を図りました。
- ・職域班ごとのリーダーを育成し、リーダーが見積等コーディネートを行なう等、職域班の活性化に努めました。